

たくずだまじんじゃ

## 多久頭魂神社

**神社番号** 21 式内社（多久頭神社）  
境内社 高御魂神社(22)、神住居神社  
(23)、師殿神社(24)ほか

**周辺の神社** 雷神社(27)

**アクセス** 厳原町豆殿集落の北東部の  
外れの森の中に鎮座してい  
ます。



**周辺の雰囲気・環境など**（P8「高御魂神社」参照）

### 神社のプロフィール

神功皇后が三韓征伐に際して神々を祭ったと伝えられ、出兵の様子を紅白の小船で再現する「カンカン祭り」が伝承されています。

豆殿の人々が神聖視する龍良山のふもと（北と南）に、聖地・八丁角（通称オソロシドコロ）があります。禁足地として里人も立ち寄らず、社殿もありませんでしたが、神仏分離に際して豆殿寺の観音堂を遥拝所（信仰対象を遠くから拝むための建物）としたものが、現在の社殿です。

あめのかみたくずだまじんじゃ

## 天神多久頭魂神社

**神社番号** 94 式内社  
亀卜神事 旧1月3日

**周辺の神社** 神御魂神社(95)

**アクセス** 上県町佐護（さご）を流れる  
佐護川河口部に鎮座してい  
ます。



**周辺の雰囲気・環境など**

いくつも集落で形成される上県町佐護地区のうち、もっとも海岸部に面しているのが佐護湊（みなと）です。

対馬では珍しい水田地帯であり、神社の多さから、古い時代から人が住み、栄えてきたことを計り知ることができます。環境省の対馬野生生物保護センターがあり、自然豊かな地域です。

**神社のプロフィール**

天道山を御神体とし、社殿がなく、石積みで聖地を結界する古い信仰形態を残しています。対馬の古い神社の大半は、神籬磐境式といわれるこうした方式だったと考えられており、その原型にふれることができます。（P13コラム「山岳信仰と磐座」参照）